

基線跨線橋架け替え工事完了に係る対応について

1 経緯

J R千歳線を跨ぐ基線通（道々）の戸磯跨線橋について、北海道が事業主体となり工事を実施し、令和2年9月から事業に着手し、本年度で工事の大部分が終了する見込みとなり、令和7年3月7日13時から供用開始した。

2 これまでの対応について

1) スクールバスについて

- ・黄金南地区においては、平成16年度から「通学上の安全確保」という観点からスクールバスの運行を開始。平成22年度から対象を拡充し、和光小1年生から3年生までの児童を対象にスクールバスを運行してきた。
- ・基線通架け替え工事を実施することとなったことから、工事終了に伴う安全確保の確認をもって、黄金南地区のスクールバスの運行を終了することを平成27年度から新入学児童の保護者説明会の場において毎年保護者にお知らせし、また工事が着手された翌年度の令和3年度から市のホームページにも掲載してきた。

2) 地域説明会等の開催

- ・町内会回覧（和光町内会・黄金南町内会・黄金中央町内会・黄金曙町内会）により、工事完了に伴う供用開始のお知らせと家庭・地域における児童への登下校の交通安全の配慮のお願いをする。
- ・和光小学校新入学児童の保護者及び在校児童の保護者を対象として、2月3日に黄金ふれあいセンターにて、「新しい基線跨線橋の概要」「スクールバスの運行終了」「通学路の設定・安全確保」について、地域説明会を開催した。

3) 通学路安全点検の実施

- ・3月7日に恵庭市通学路安全プログラムにより、恵庭市通学路安全推進会議構成メンバーによる通学路の合同点検を実施した。

3 今後の取組

- ・学校や関係機関と連携し、児童生徒の通学路の安全確保を図る。
- ・学校より通学路の危険箇所として報告がある箇所については、合同点検を実施し、今後、関係機関に改善要望を行う。